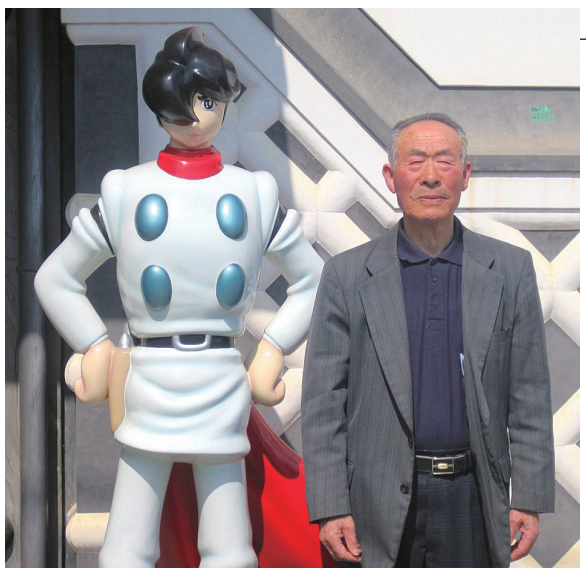
宮城いきいき便り

おらほの記念館をサポート 来館者を温かくおもてなし

ボランティアガイド「さぶ」顧問 佐藤愉一さん(86)＝登米市中田町＝



登米市中田町の石ノ森章太郎ふるさと記念館周辺を案内するボランティアグループで活動している。グループの名称「さぶ」は、石ノ森氏の作品「佐武と市捕物控」から採った。

以前は会員が40人ほどいたが、現在は約30人。土曜午後、日曜と祝日は午前、午後の半日交代で活動する。記念館自体は職員がガイドするため、さぶは石ノ森氏の生家を中心に記念館周辺の神社や小学校などを案内する。

「おらほ（俺たち）の記念館だ。おらほの章太郎さんだという気持ちで来館者へのおもてなしをしよう」がモットー。

「活動して強く感じるのは、石ノ森さんの偉大さであり、郷土の誇りという思い。活動を通じ、会員同士のコミュニケーションの場にもなっています。健康のありがたさも強く感じます」

記念館は2000年オープン。地元住民らが中心になって1995年に石ノ森懇話会を設立し、石ノ森氏にちなんだ記念館を地元に開設するよう、中田町（当時）に陳情したのがきっかけだ。

「石巻市に『石ノ森萬画館』ができるという話を聞きました。地元には何もなく、みんな石巻に持っていかれるとの思いがありました」と振り返る。

安全面で85歳定年

郷土の偉人の業績を広く紹介し、まちおこしにつなげたいとの思いで記念館の開設が決まった。

佐藤さんは中田町立桜場小校長を定年退職後、95年から2004年まで石森公民館の館長を務め、記念館建設の下ごしらえも担った。

「建設場所を選ぶのにも大変苦労しました。建てる直前に石ノ森さんが病気になり、こちらになかなか来れなくなってしまいました。記念館が完成した際には周りに花を植えるなど、高齢者でもできることがあればやりたいと思っていました」

地元には「石森ふるさとを語る会」という郷土の歴史、偉人などを紹介する活動をしていた団体があった。語る会の会長をしていた佐藤さんのところへ、記念館からガイドの相談があった。

語る会の会員が3分の2、定年退職者が3分の1の構成で、語るだけでなく実践活動の場として、さぶを2003年3月に結成した。

会員は全員60歳以上で、平均年齢は約70歳。「いつまでも活動を続けたい」という人もいるが、高齢化が進み、安全面の確保から85歳定年制となっている。佐藤さんも一昨年、定年を迎えたため、さぶの代表を辞め、顧問に就任した。

人員の調整に苦労

記念館の入館者はオープン当初が年間で5万人程度、今は2万人から3万人前後で推移する。開館1年後には記念館の友の会が設立され、現会員は約170人。その多くは仕事を抱える。

友の会でやれない部分を、さぶが受け持つことに。友の会が行っている漫画教室といったイベントも、さぶが支援する。

さぶの会員の活動は月1回を原則とするが、あくまで任意。毎月会員に予定表を配り、ガイドを依頼している。東日本大震災では、記念館も周辺も被災したため約1年間、活動を休止した。

「会員のガイド希望日が特定の日に集中したり、まったくいない日もあったりと調整に苦労しました」と語る。

会員は住民でもあるため、地元のことはよく知っている。「ただ、子どものころに漫画を読む機会がなかったので、漫画についてはよく知りません。来館者を案内するときは、事前にそれを伝え、了承を得た上で案内しています」という。

「故人がいくら有名でも、亡くなってから10年もすれば印象は薄れてきます。そうならないようにするため、今後も今までの活動を続けられるよう、さぶを支援していきたい」と張り切る。

第22回 シルバー創作展 開催

仙台市内に在住または通勤・通学（教室・講座含む）する60歳以上のアマチュアの作品を展示します。審査員による各賞のほか、7月27日㈯から31日㈬まで来場者審査で仙台市健康福祉事業団理事長賞を決定します。サークル・各種団体・介護事業所など2人以上のグループによる共同作品も展示します。

◆部門／洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸
◆日時／7月27日㈯～8月1日㈭
　9:30～16:30（最終日は14:30まで）
◆会場／仙台市シルバーセンター
　仙台市青葉区花京院1-3-2
　※出品申し込みは7月5日㈮締め切り
　（希望者には募集要項を郵送します）
◆募集要項の請求・問い合わせ
　シルバーセンターいきがい推進課交流啓発係
　TEL022-215-3170
◆主催／（公財）仙台市健康福祉事業団

仙台市健康福祉事業団　検索

第16回 介護支援専門員 実務研修受講試験

◆試験申込期間／6月24日㈪～7月22日㈪
◆申込案内配布先／
　県内各保健福祉事務所および各市区町村役所・役場の介護保険窓口など
◆試験日／10月13日㈰
◆試験会場／東北文化学園大、
　北杜学園仙台医療福祉専門学校
◆受験料／8200円
◆問い合わせ／宮城県社会福祉協議会研修課
　TEL022-216-5382